

## 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 平成 30 年 1 月 22 日（月）

午前 10 時 00 分 開会

午前 10 時 15 分 閉会

○ 場 所 第 3 常任委員会室

○ 出席委員（10 名）

委員長	桃 原 朗
委員	宮 城 克
委員	山 城 康 弘
委員	濱 元 朝 晴
委員	桃 原 功

副委員長	伊 波 一 男
委員	石 川 慶
委員	伊 佐 哲 雄
委員	比 嘉 憲 康
委員	我 如 古 盛 英

○ 欠席委員（0 名）

○ 委員外議員（0 名）

○ 説明員（0 名）

○ 議会事務局職員出席者（1 名）

議事係長	中 村 誠
------	-------

○ 協議案件

米軍機によるたび重なる事故やトラブル等に対する抗議決議及び意見書（案）の提出について

# 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

平成 30 年 1 月 22 日（月）

○桃原朗 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前 10 時 00 分）

## 【協議事項】

**米軍機によるたび重なる事故やトラブル等に対する抗議決議及び意見書（案）の提出について**

○桃原朗 委員長 文案について協議していただきたい。

○桃原功 委員 他市の抗議文のタイトルに「普天間基地所属」といった文言が見受けられた。無党派の知念議員からも、よりわかりやすくするために同文言を入れたほうがよいとの意見があった。あえて普天間基地所属という文言を入れなかった理由があるのか。

○議会事務局 これまでの決議文では同様に入れ込んだ例もあるが、今回は文案中に「米軍機による事故やトラブルは 2017 年以降だけでも 15 件にも上る異常事態である」という指摘をしており、その 15 件の中には嘉手納基地配備の戦闘機のパネル落下事故なども含まれている。戦闘機もダイバート等で普天間基地を離発着することもあり、同様に危険性があり、それらも全て抗議の対象とし普天間基地所属に限定していないためである。

○桃原功 委員 よく理解できた。また、今回の抗議先には普天間基地は入っていないが、今後も起こるようであれば、普天間基地も抗議先に追加できないか。そこで飛ぶ前のチェックや作業等についても具体的に指摘ができるものとする。

○桃原朗 委員長 ほかに意見はあるか。なければ同文案のとおり決定してよいか。  
（異議なし）

○桃原朗 委員長 直接抗議先の日程について事務局より説明いただきたい。

○議会事務局 （別添 要請行動予定表について説明する）

○桃原功 委員 同日では総領事の都合がつかないとのことであるが、要請文の中に「日米地位協定を抜本的に改定すること」とあり、ぜひ領事館にも行くべきである。特に遠い距離でもなく、日を改めて調整してはどうか。

○我如古盛英 委員 日米地位協定の改定は、沖縄県民が願っている、また与野党や保守、革新を問わずやらなければならないというものであり、ぜひ日を改めてすべきである。

○**桃原朗 委員長** 直接抗議すべきとの意見があることから、米国総領事については日を改めて抗議に行くということでよいか。

(異議なし)

○**桃原朗 委員長** 本件については、協議した文案内容、あて先のとおり決定し、本会議に提出する。また、要請方法については第三海兵遠征軍司令官、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長、在沖米国総領事については直接要請することとし、そのほかの機関については郵送対応とすることによいか。

(異議なし)

### 【協議結果】

本件について以下のとおり決定（全会一致）した。

①件名：米軍機によるたび重なる事故やトラブル等に対する抗議決議及び意見書

②文案：修正、確認したとおり

③あて先

抗議決議（駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官  
在沖米国総領事）

意見書（内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣  
沖縄基地負担軽減担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長）

④要請方法：第三海兵遠征軍司令官、在沖米国総領事、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長は直接要請するものとし、そのほかの機関は郵送とする。

---

○**桃原朗 委員長** 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻（午前 10 時 15 分）